

新たな地域コミュニティ支援事業にかかる受託者等の評価結果について（令和2年度期末）

1 支援の内容及び効果等

評価項目

「自律的運営に向けた地域活動協議会の取組（イメージ）」

- (1) 「Ⅰ 地域課題への取組」にかかる支援の状況（実績）及び効果等
- (2) 「Ⅱ つながりの拡充」にかかる支援の状況（実績）及び効果等
- (3) 「Ⅲ 組織運営」にかかる支援の状況（実績）及び効果等

評価	左記の理由
B	<p>※旭区では、地域運営アドバイザー（会計年度任用職員）2名 と市民協働課職員2名 計4名がまちづくりセンターとしての機能を担っている。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・全地域活動協議会の定例会議等に参加し、地域の声を聞くことでニーズや課題の把握に努め、その解決に向けた助言、提案等の支援を行った。 ・コロナ禍において事業実施が難しい中、休止している事業の再開に向け、他区事例集や旭区版活動再開ガイドラインを作成し、具体的な指針を示すことで、活動の再開に向けた検討、シミュレーションの実施を促すことができた。 ・「まちづくりガイドブック」を作成し、各地域集会所等に配架を行うなど、広く地域活動に興味を持ってもらえるような広報に努めた。 ・転入者パックに町会加入促進チラシを封入、地域活動協議会の中心団体である地域振興会の加入率向上に努めている。 ・希望地域を対象に個別の会計説明会を実施、地域の実務担当者の会計スキルの向上に努めた。 ・各地域活動協議会ホームページのリニューアル支援を行い、地域の広報発信力の向上に努めた。

2 取組効果の評価（アウトカムに対する評価）

評価項目

アンケート調査

評価	左記の理由
B	<ul style="list-style-type: none"> ・地域活動協議会の構成団体を対象としたアンケートにおいて「地域活動協議会の構成団体が、地域活動協議会に対し地域の実情やニーズに即した支援が実施されていると思う割合」が77.4%であった。

3 総合評価【全体】

評価	左記の理由
B	<ul style="list-style-type: none"> ・コロナ禍において地域活動が中止、休止となっている難しい環境の中、積極的に地域に出向いて意見聴取を行い、ニーズに沿った支援に努めることで、地域との関係性を強化してきたことは大いに評価できる。引き続き、地域との信頼関係を大切にしながら、活動の再開に向けたきめ細かな支援に努められたい。

(評価基準)

S：各区の当該年度の戦略に基づいた支援内容や目標の水準を大幅に上回っている。

A：各区の当該年度の戦略に基づいた支援内容や目標の水準を上回っている。

B：各区の当該年度の戦略に基づいた支援内容や目標の水準に概ね達している。

C：各区の当該年度の戦略に基づいた支援内容や目標の水準を下回っている。